

第3回土曜AL講演会を開催しました

12月19日(土)に3名の講師を迎え、1,2学年の希望者98名を対象に講演をしていただきました。社会や学問の第一線で活躍されている方々の話は刺激に満ちており、生徒は熱心に聴き入っていました。質疑応答やグループワークも白熱し、充実した時間となりました。

講演① 「医師を目指す後輩に伝えたいこと ～ある整形外科医の体験談～」

群馬大学医学部附属病院整形外科 大島 淳文 氏

講演② 「バーチャルな自分を見つける脳」

国立研究開発法人産業技術総合研究所つくばセンター 金山 範明 氏

講演③ 「交通再編と自動運転バスの取組」

前橋市役所政策部交通政策課 南雲 貞人 氏

<生徒の感想より>

講演①

- 医学部に入ってから何をやるのだろう、大学ってどんな感じなのだろうという疑問を解消してくれる素晴らしい講演でした。明確なビジョンが見えました。
- 夢、目標は絶対に諦めずに追いかけていきたいと思います。
- 人の命を、責任を持って扱うため、医師になるには強い信念を持つべきだと感じました。



講演②

- 「心」は科学の範疇の外だと勝手に思っていたのですが、科学的視点で「心」の謎が解き明かされていてすごいなと思いました。VRは使い次第でどんなものにもなりうる可能性を秘めているのだなと思いました。倫理的な問題について自分で学んでみようと思いました。
- 私は心理学にとっても興味があるので、非常に興味深い面白い内容でした。先生は心理学とVRを結びつける研究をされていますが、私は心理学とエンターテインメントや芸術を結びつけて人を幸せにしたいという思いがあります。様々な分野を横断する学問なので、色々なことに興味を持つことが大事だと思います。

講演③

- 自動運転バスを含め様々な交通手段の改善が、過度な車依存社会の前橋市には重要であるとわかりました。自分は課題研究について前橋市の人口増加策というテーマで取り組んでいるので、交通の観点からの研究に生かしたいです。
- 課題を発見し、それに対して改善策を検討するというプロセスがとても参考になりました。

